

ジェイコム小田原では、放送番組審議会を設け、審議委員による審議会を開催し、自主制作番組について多岐にわたって審議していただき、地域の皆様に親しまれ、信頼を得られるよう、よりよい番組作り、番組の適正化に努めております。

◆ 日時 2014年10月9日(木) 10:30～13:00

◆ 場所 ジェイコム小田原2階会議室

◆ 出席者

<審議委員・敬称略>

会長・芳澤 一夫

副会長・浅野 俊哉

委員・井澤 幸雄(代理出席：小澤礼子)、杉田 倫子、山本 靖、柳川ひとみ、関野次男、樋口 正人

<ジェイコム小田原>

山田 文雄(代表取締役社長)

西村 秀雄(取締役)、山本 孝夫(監査役)

半田 晶裕(ジュピターテレコム 神奈川 BL エリア制作統括部長)

保田 典子(企画制作部アシスタントマネージャー)

◆ 放送番組審議会 概要

(1) ジェイコム小田原 社長あいさつ

(2) J:COM との統合について

(3) 放送番組審議会規定について

(4) 前回の審議会の意見を受けた J:COM 小田原の取り組みについて

(5) 2014 年度制作番組と取り組みについて (映像視聴)

(6) 本部・神奈川ブロック制作の番組について

◆ 委員からの主な意見

*委員から以下の意見があり、今後の自主番組制作の参考にさせていただくこととしました

【災害・防災情報について】

- ・動画投稿サイトや市民撮影隊などのネットワークをつくり、災害時にエリア内の災害情報などを活用できるようにしてみてもどうか。
住民との結びつきも強くなるのでは。
- ・神奈川県河川水位情報の使用が可能となったならば、ぜひ活用してほしい

- ・台風の際、避難場所などの問い合わせが自治会長宅に多く入った。
ケーブルテレビで、詳しく放送してほしい。

【地域メディアの役割について】

- ・視覚、聴覚障害者へも対応できる番組はあるのか。
災害情報などは特に知らせたい
- ・独居老人の中には地域情報を届けられない人がいる。
安否確認も含め、ケーブルテレビのシステムを活用できないか

【その他】

- ・民放と差別化できる、「ケーブルならではの」の切り口の番組作りをしてほしい。
- ・メジャーよりマイナーを訴求する番組作りをしてほしい
- ・せっかく良い番組を作っているのに、番組PRが足りないようだ
- ・地域のコミュニティを支えるケーブルテレビになってほしい

※その他 具体的な取材情報などについてもご意見・質問をいただきました。

(※各委員からのご意見を抜粋して掲載しております)

ジェイコム小田原 放送番組審議会 事務局